

PBL-X: 未来洞察ワークショップ+アイデアソン (藤井)

○専門科目 (システム情報学講究)

○職員スキルアップ研修ワークショップ「DXによる大学における学び・はたらきかたを考える」～ DX
× 神戸大学 × 学び・はたらきかた ～

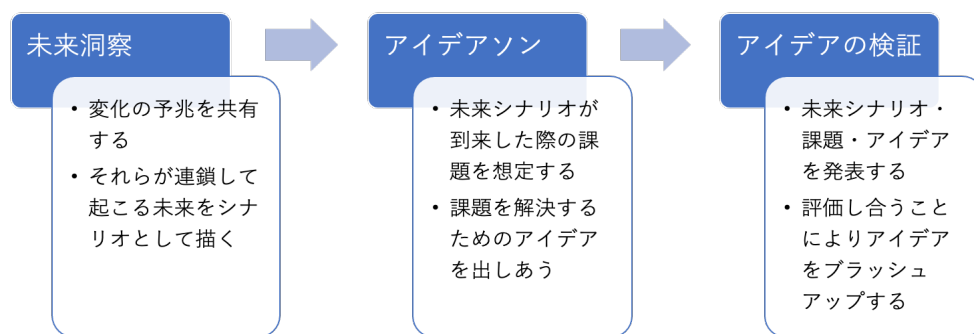
日程・会場

- ・7/14(月): 1回目 (イントロ、13:20～14:50) ⇒ 自然科学系図書館の4F奥のスペース
- ・7/22(火): 2回目 (未来洞察WS、9:00～17:00) ⇒ Vルーム
- ・7/29(火): 3回目 (アイデアソン、9:00～17:00) ⇒ Vルーム
- ・8/5(火): 4回目 (成果発表、13:20～17:00) ⇒ Vルーム

神戸大学に関わる多様なバックグラウンドを有した人々が集い「未来の学び・はたらきかた」について考えます。デジタル技術であらゆるものを変革していくデジタルトランスフォーメーション。しかしその本質はデジタル技術の導入ではなく、どのような変革を起こしていくかにあります。デジタル社会における未来の神戸の姿を洞察することで、未来の課題を見だし、学び・はたらきかたを変革するアイデアをつくりだします。多様な人々が学び合い、視点を掛け合わせることで新たな価値を創出することを目的とします。

<ワークショップの特徴>

未来の洞察から自分たちがどういう存在でありたいかというイメージを描き、課題設定を行う「未来洞察プログラム」と、課題解決のためのアイデア創出を短期間で実現する「アイデアソン」を組み合わせたワークショップを行います。「こんな未来社会にしたい」というありたい姿を設定し、未来への意思を持つことが、現状との差分を明らかにし、より質の高いアイデア創出を促します。



図：ワークショップの流れ

<ワークショップ参加で得られること>

1. 未来洞察によって参加者から「未来を考え、希望を持ち、変化していきたいという意思」を引き出し、より良いアイデア創出につながります。
2. 多様な知見を共有し新たな価値を創出するために、本ワークショップでは神戸大学職員だけでなく、学生（システム情報学研究科・バリュースクール）も参加予定です。異なる視点に気づき、新たな関係を築く交流の場としても有効です。
3. 未来洞察やアイデアソンなどの最新のワークショップ手法を活用し、体験して頂くことで、今後自力でワークショップを開催し、継続して検討を進める際の参考となります。